

一般国道296号

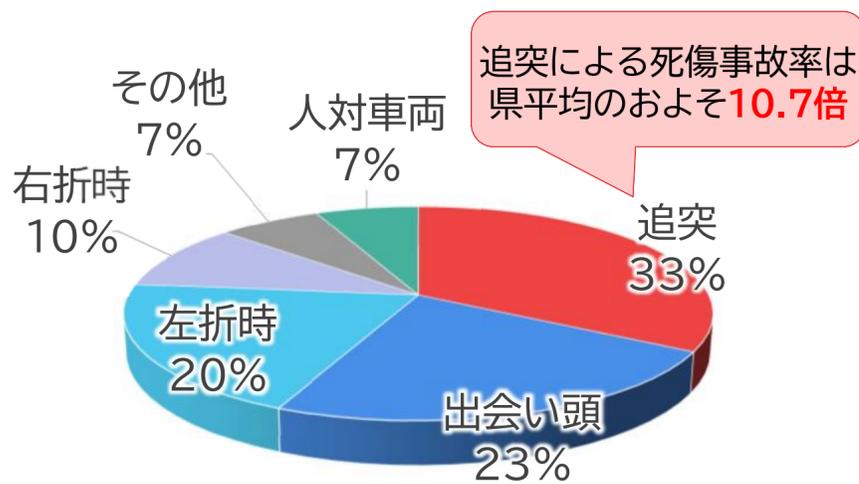
データでみる「中野木交差点周辺の事故状況」 (事業の必要性)



交通事故の状況

- 当該区間は事故危険区間に該当しており、渋滞に起因する追突事故に着目した場合の死傷事故率は、県平均の**10.7倍**となっています。(県平均(追突のみ): 13.2件/億台キロ)
- 加えて当該区間はゾーン30プラスに指定されている中野木地区の外周道路であり、本地区の安全性向上のためにも交通の円滑化を図る必要があります。

事故類型



渋滞が多いことで追突事故の発生が多くなっているため、事故減少のためにも渋滞を緩和する必要があります。

出典:イタルダ 千葉県内事故別データ(R1-R4) ※事故件数:30件/4年

死傷事故率

単位:(件/億台キロ)

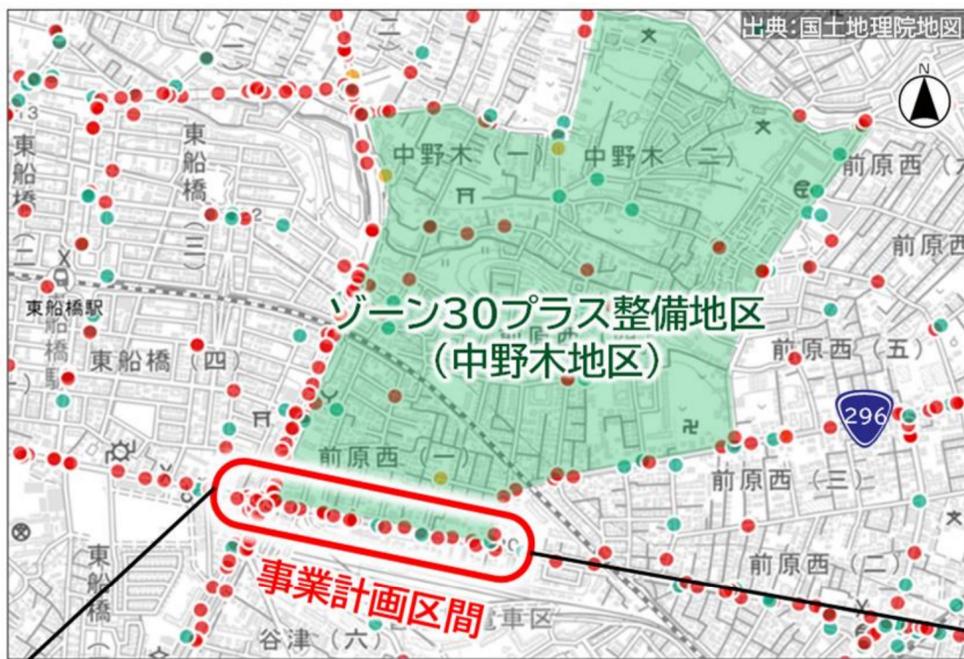
		①事業区間	②県平均	①/②
事業区間全体	全ての事故	425.2	31.8	13.4倍
	追突のみ	141.7	13.2	10.7倍
中野木交差点	全ての事故	653.4	86.6 (交差点)	7.5倍
	追突のみ	196.0	30.6 (交差点)	6.4倍
成田街道入口交差点	全ての事故	196.0	86.6 (交差点)	2.3倍
	追突のみ	65.3	30.6 (交差点)	2.1倍

死傷事故率

1台の車が一定距離走行する間に事故に遭う確率
死傷事故率(件/億台キロ) = 死傷事故件数 / 走行台キロ (走行距離 × 交通量)

出典:イタルダ 千葉県内イタルダ区間別データ(R1-R4)

事故発生状況



凡例
事故内容・類型

- 人対車両
- 車両相互
- 車両単独



凡例
事故内容・類型

- 人対車両
- 車両単独
- 車両相互(追突)
- 車両相互(正面衝突)
- 車両相互(出会い頭)
- 車両相互(右折)
- 車両相互(左折)
- 車両相互(その他)

出典:イタルダ 千葉県内事故別データ(R1-R4)

一般国道296号

課題解決に向けた解決策(道路計画の概要)



計画の概要

事業延長 : L=0.5km
 幅員 : W=16m
 道路規格 : 第4種第1級

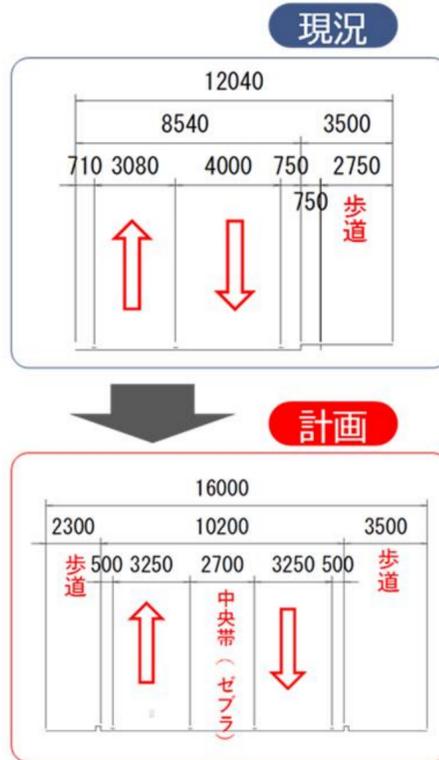
設計速度 : 60km/h
 車線数 : 2車線
 計画交通量 : 25,600台/日

平面図

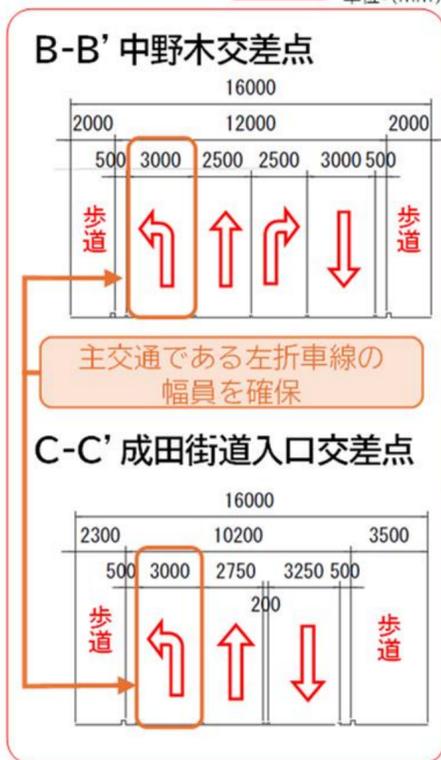


標準横断図

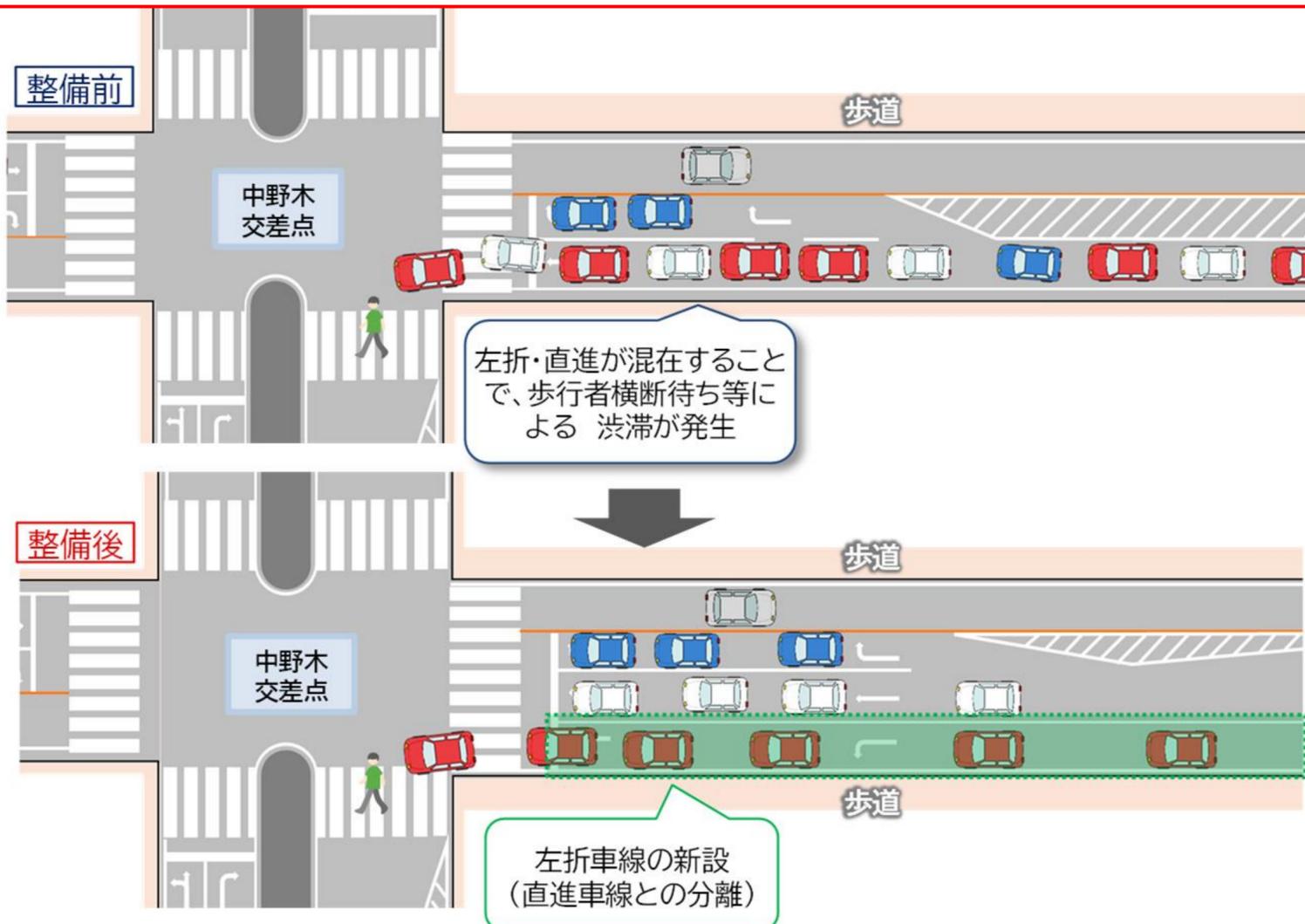
【単路部】A-A'



【交差点部】計画 単位:(mm)



専用レーンの設置により左折車両を分離し、流れをスムーズに！



両側に歩道ができることで、歩行者もより安全に通行できます！

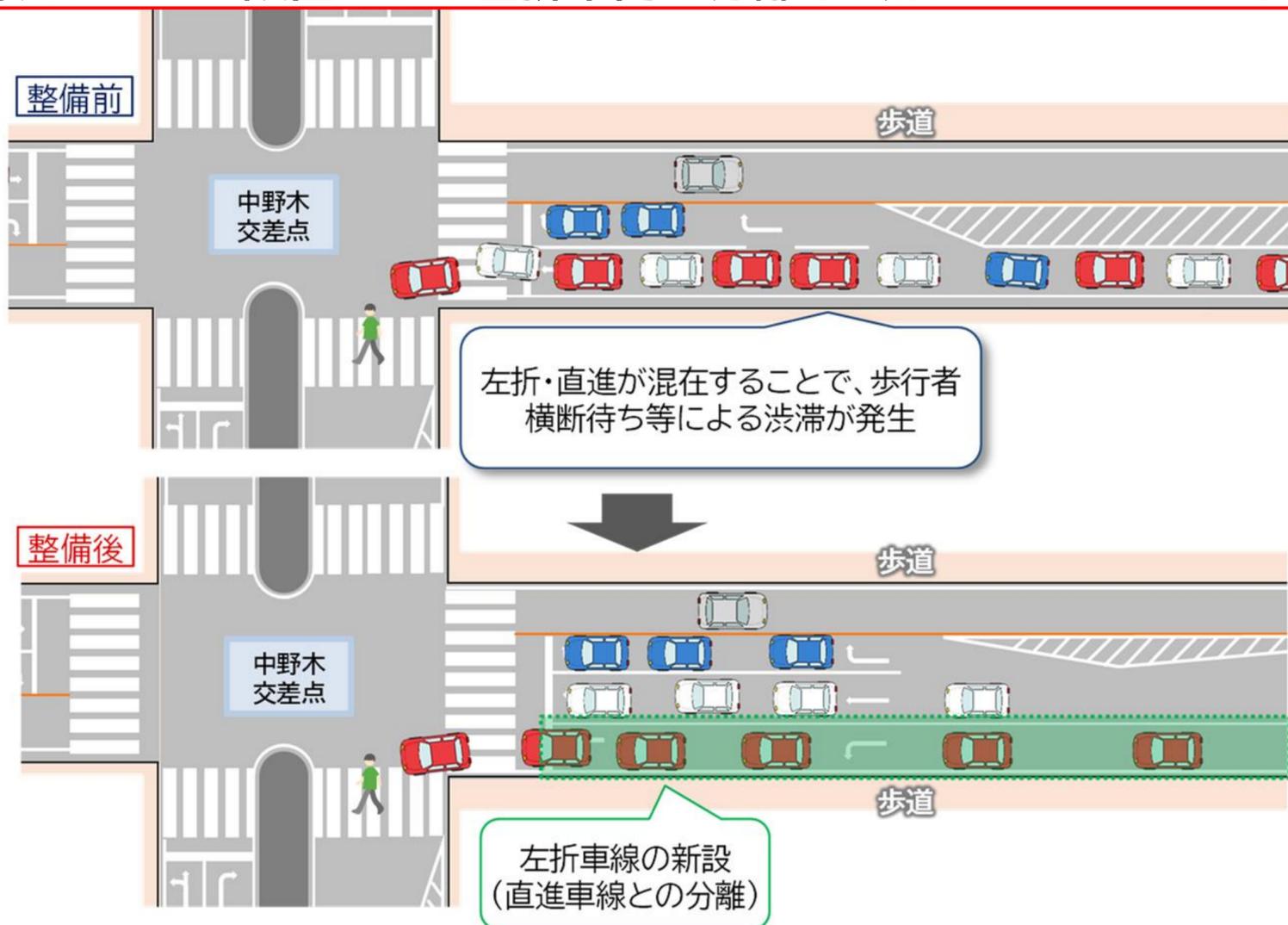
一般国道296号 交差点改良による交通の円滑化 (経済的・社会的効果)



交通の円滑化

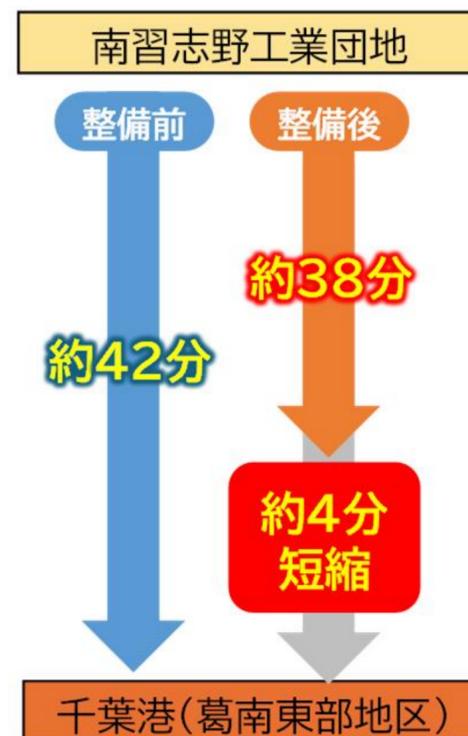
- 当該区間を整備することで交差点部における交通処理の効率が向上し、主要渋滞箇所である中野木交差点や成田街道入口交差点の交通混雑の緩和することが期待されます。
- この交通混雑の緩和により、南習志野工業団地から千葉港(葛南東部地区)までの所要時間は約4分短縮するなど、走行時間の短縮が図られます。

専用レーンの設置により左折車両を分離し、流れをスムーズに！



所要時間の短縮

- 凡例
- 高速道路
 - 一般国道
 - 主要地方道
 - その他県道など
 - 主要渋滞箇所



整備前:R3道路交通センサス 混雑時旅行速度
整備後:通過時間の実測値分が短縮(R4.2調査)